

(様式2)

## 社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	岡林 春雄 (おかばやし はるお)	所属	山梨大学教育人間科学部
連絡先 (電話・E-mail)	甲府市武田 4-4-37 山梨大学教育人間科学部教育支援科学講座・心理学 (oka@yamanashi.ac.jp)		
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10 名 非会員 10 名 (認定心理士 2名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>目的と成果: ダイナミカルシステム理論では、ホメオスタシスといった恒常性と刻々と変化する揺らぎといった変動性の中で、人間心理のような生きているシステムがどのように振る舞うのかを問題にしている。また、その時間の進み方として、マクロな時間の経過、ミクロな時間の経過といった観点を持っておく必要がある。</p> <p>ミクロな時間の流れの中での揺らぎについては、鈴木平氏 (桜美林大学) を中心にして、脈波のアトラクタの捉え方について勉強会をもち議論・検討を加えているが、ここでは、マクロな時間の経過について教育現場に応用ができるのではないかと目的からなされた研究集会を報告する。</p> <p>今回、ダイナミカルシステム(DS)研究会では、マクロな時間の経過からアプローチする方向で研究集会を行った。発表者は、高校の家庭科の教員である。</p> <p>高校生を被験者として、これまで16年生きてきたことを振り返り、「良かったこと・うれしかったこと・楽しかったこと」があった場合は、図でプラスの方に線を引き、「悲しかったこと・いやだったこと・つらかったこと」の場合は、マイナスの方に線を引いてもらい、そこから将来への展望を持ってもらう。要するに、情意ベクトルで人生線を描いてもらうという試みであるが、これが高校の家庭科の授業 (領域: 家族・家庭生活領域「自分らしい人生をつくる」、目標: 16年間を振り返り、未来への展望をもつ、他者の意見を聞き多様な生き方が存在することを理解する、それぞれのライフステージにおける発達課題や自立、未来への展望を見つめ直す) で応用できるのではないかと試みである。</p> <p>集会には、多くの教員や教育関係者が参加してくれたが、「人生線を描くことで、単に思い出すだけではなく、その時の感情等を客観的にとらえながら、目で見える形で記すことができる」「こんなにまでもアップ、ダウンが激しいとは思わなかった。図にしてみないとわからない」といった反応が見られた。このような試みは、外国、他文化の人の人生も同じように人生線で表し、日本で暮らす私たちの発達課題について知り、人生線を修正し、「自分らしく生きる」といった目標を具体的に実践していく (キャリア教育などにも応用できる) ことに、ダイナミカルシステム理論の考え方はつながり、適用できるのではないかと考えられた。</p>		

<研究会会計報告：2013年度>

提出日：2013年3月1日

研究会番号：研 13002

研究会名：公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会

-----  
助成金額：            20,000 円

-----  
研究集会会場費：    36,000 円  
-----

以上。

2014年 3 月 1 日

日本心理学会研究会

2013 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会

研究会番号 研 13002

助成金額 ¥20,000

年月日	項目	金額
2013年12月16日	研究集会会場費 (KKR 甲府 ニュー芙蓉)	¥36,000

---

支出合計 ¥20,000

(-¥16,000)